

電子政府ガイドライン作成検討会（第1回）会合
議事概要

1、 開催日時：平成20年10月2日（木） 18:00～19:00

2、 場 所：永田町合同庁舎第一会議室

3、 出席構成員：

須藤座長、辻井座長代理（セキュリティ分科会主査）、
山田構成員（ユーザビリティ分科会主査）、荒木構成員、井堀構成員、岩下構成員、
上田構成員、宇賀構成員、遠藤構成員、大山構成員、木村構成員、黒須構成員、小松構成員、
近藤構成員、佐々木構成員、関根構成員、中尾構成員、満塩構成員、山崎構成員

（参加府省）

総務省行政管理局長屋行政情報システム企画課長

総務省自治行政局江畑市町村課長

総務省自治行政局地域政策課中垣内課長補佐（代理）

総務省自治行政局井上地域情報政策室長

総務省情報流通行政局安藤情報流通振興課長

総務省情報流通行政局情報流通振興課新井情報セキュリティ対策室長

法務省民事局総務課堀補佐官（代理）

法務省民事局商事課杉浦補佐官（代理）

国税庁長官官房上斗米企画課長

厚生労働省大臣官房統計情報部企画課佐々木情報企画室長

厚生労働省労働基準局労働保険徴収課佐々木課長補佐（代理）

厚生労働省職業安定局坂口雇用保険課長

社会保険庁総務部総務課澤田情報企画調整室長

経済産業省商務情報政策局鍛冶情報政策課長

経済産業省商務情報政策局情報経済課三角情報セキュリティ政策室長

（会議概要）

○互選により須藤構成員が座長に選出された。

○資料2のとおり、検討会の活動方針について了承された。また、座長代理兼セキュリティ分科会主査に辻井構成員が、ユーザビリティ分科会主査に山田構成員が指名された。

○資料3、4の説明を受け、今後の検討の進め方や検討の範囲等について以下のような意見が提出された。

- データの完全性の観点から本人の申請データの正確性を確保するために、申請者本人あるいは第三者が確認できるようにすることをセキュリティ分科会で検討すべき。また、どういう時に署名が必要か、どういう時にID・パスワードだけでよいか、といった基準の明確化をセキュリティ分科会で整理すべき。

- 利用者視点から見ると、いかにシステムがシンプルであるかが重要である。しかし、多くの機能を丁寧にとると複雑になって使いづらくなる。そのため、機能を外してシンプル化することもユーザビリティ分科会で検討すべき。
- 利用者のユーザビリティ向上には、国と地方の間、官と民の間のバックオフィス連携が重要である。また、ITや電子申請にかたよった方式でなく、複合的に様々な方式を組み合わせることでオンライン申請ができるようにすることもユーザビリティの観点から大事である。
- 電子化されると業務が効率化され、紙を用いて人手作業をしていた人員の手が空くことになる。この手が空いた人をどう活用するかという視点を持っていないと業務の合理化は進まない。手の空いた人員はこれまでと違う仕事に配置される、もしくは仕事がなくなるかもしれない。そのため、手の空いた人員の有効な職場を用意することが必要。役所の業務も同様の考え方で合理化を考えていくべき。
- 署名とID/パスワードはその目的が異なる。署名は本人が真正性を確保するためのもので否認防止のためにあり、証拠能力を持っている。一方ID/パスワードは相手の認証のために使うためにある。この2つが一般的にわかりにくい用語になっており、それぞれの用語と目的を明確にして合意した上で議論を進めていきたい。
- ユーザビリティ分科会がスタートする前に、特に利用件数の多い登記、国税、社会保険・労働保険分野のオンライン申請を一度使わせて欲しい。現実には何が問題になっていて、どこにユーザインターフェース上の問題があるかということを確認した上で会議を行った方が、議論が効率的に進むのではないかと。
- セキュリティ関係では法的効果の問題も重要になるため、制度的法的な面からの検討もお願いしたい。

○資料5の説明を受け、今後のスケジュールについて以下のような意見が提出された。

- 構成員と庶務担当において、今後のスケジュールとターゲットをよく相談しながら進めて欲しい。
- IT戦略本部の決定を受けて、次期通常国会で電子行政を推進する法案を提出すべく、検討を進めている。一方でオンライン利用拡大行動計画がIT戦略本部で決定され、オンライン利用拡大のためのセキュリティ確保策の見直しについて制度的、技術的検討を進めていくことになった。このセキュリティ確保策に関する検討に一定の進展があれば、法律改正等の手当について政府内で相談して決めることになる。ただし、特にスケジュールに明記はしない。
- 重要な課題を議論することになるため、各分科会における検討状況が、適宜電子政府ガイドライン作成検討会に報告されるようにすべき。
- 今回提示されたスケジュールは当初の計画という扱いである。議論の進み方によっては変更の可能性はある。

以上